



氷の感触を確かめながら順調に調整を進める高木美帆

右膝痛の高木菜
「良い方向に」
○・右膝痛を抱える高木
菜那（日本電産サンキョー
一帯南商高出）はこの日、
自転車のトレーニングな
ど、一部を別メニューにし
た。「やつと体が動くよう
になってきた。良い方向に
来ている。五輪までまだ時
間がある。今は土台をしつ
かりとしてじっくりと積み
重ねていく」と焦りはない。



氷上練習を早めに切り上げ、一部別メニューで地道にトレーニングに励む高木菜那

平昌への激闘間近



神谷 ツチ落選の悔しき胸に

トのナショナルチームが10月の韓国、立派な上位争いをした。長野市エムウェーブで水上練習を公開した。来年

上がっている。全日本距離別選手権では、12月の五輪向けたレースをしたい」。神谷衣理那は明るい表情で

9月23日に帯広市の明治
北海道十勝オーバルで行つ

り、1000点での成長も実感する。現在は課題のスタートからの100点に力を注ぐ。この日の試合終盤

前に、当時を思い出していい。人は何年もたつと悔しい気持ちも忘れてしまうから。突然なアーティストは

2 嵐羽賀に「自信」

9歳のプリンター

バルから刺激



平昌五輪を見据え、報道陣に
季の意気込みを語る羽賀亮平

夏のトレーニングで筋力 タヒメニユーを消化した。
が強化された高木美帆は、 金日本距離別選手権で、
男子選手に交じりながら淡 500～5000㍍の5種
木美帆 目とマスマスタートにエントリー。中でも最もこだわり
のある1500㍍は、9月中旬のタイムトライアルで
1分55秒98を計測。2月の
アジア大会で同じ帯広のリンクで自身がマークした1
分57秒98を上回る結果となりました。

8月に長野の菅平高原で行つた高地トレーニングの疲労が抜けない中での好成績だった。「力が付いた分、馬力に頼りすぎないように試行錯誤している。スピードは出ているが、感覺はまだしつくりとは来ていない」と満足はしていない。五輪のメダルへ向け、會

「成長」の大会に

昨年の自分超える
村上右磨（村上電気）の
話 昨年の一番良かった時
期と変わらないタイムで滑
れている。500mは激戦
区。34秒台が複数入出てくる
と思う。練習から高い質
を見せないと負けてしま
う。体の切れもいいので、